

2025年10月

お客さま各位

株式会社 大垣共立銀行

「手形・小切手の全面的な電子化」に向けた三重県内金融機関の連携について

大垣共立銀行（頭取 林 敬治）は、三重県内の金融機関と連携し「手形・小切手の全面的な電子化」に向け、お客さまのデジタルサービスへの移行を推進してまいりますので、下記のとおりお知らせいたします。

当社は、今後も県内金融機関との連携を一層強化し、地域社会の持続的な発展とお客さまの利便性の向上に取り組んでまいります。

なお、この取組みは、三重県内の連携金融機関（銀行・信用金庫・農協 計13行）におきましても、電子決済サービスへの移行に向けた周知・ご案内を共同で実施いたします。

記

1. 背景

2021年6月に閣議決定された政府の「成長戦略実行計画」において「5年後の約束手形利用の廃止」「小切手の全面的な電子化」が盛り込まれました。これを受け、全国銀行協会は、「2026年度末までに全国手形交換所における手形・小切手の交換枚数をゼロにする」ことを目標として掲げています。

2. 共同で取り組む金融機関

※ 金融機関コード順

銀 行	株式会社三菱UFJ銀行、株式会社大垣共立銀行、株式会社十六銀行、株式会社三十三銀行、株式会社百五銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、株式会社あいち銀行
信用金庫	北伊勢上野信用金庫、桑名三重信用金庫、紀北信用金庫、新宮信用金庫
J A	三重県下JAバンク

3. 取組内容

- ・紙の手形・小切手から「でんさい」や「インターネットバンキング」などのデジタルサービスへの移行をサポートします。
- ・「手形・小切手の全面的な電子化」に関する共同チラシを作成し、周知活動を実施します。

以 上